

研修テーマ 筆者の思いを読み取ろうとする児童の育成

筆者が伝えたいことを読み取ることが読解力を育成することの基本であると考え、それを意識する児童の育成を目指して本テーマを設定した。

日常、児童は言葉や文章を表面的に読んで理解したと多く、叙述に即して筆者の思いを読み取ろうとする児童は少ない。

これまでの単元「ありの行列」では、筆者の驚きや感情を表わす言葉に着目させ、そこから筆者の感動や伝えたいことに迫る指導をしてきた。

1 単元名 大事なことをたしかめよう

「すがたをかえる大豆」「食べ物がかせになろう」(光村図書 3年下)

2 単元について

(1) 児童について

本単元は、学習指導要領第3学年「C読むこと」の内容(1)イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」を受けて設定した。

児童は、「ありの行列」の学習において、実験や仮説・推論といったまとまりを考えて読む活動に取り組んだ。そのことにより、段落の意識が育ちつつある。また、題名にある言葉やくり返し出てくる言葉が文章の中心にかかわっていることに気付いている児童もふえてきた。しかし、段落の内容を短くまとめることを苦手としていることから中心文や要点をとらえることができない傾向にある。そこで、段落や筆者の伝えたいことを考えたりまとめたりする活動に取り組ませ、中心となる語や文をとらえて文章を読む力を身に付けさせる必要がある。

(2) 教材について

本単元は、説明文教材「すがたをかえる大豆」と作文教材「食べ物がかせになろう」の2つで構成されている。まず、「すがたをかえる大豆」は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれており、内容は児童にとって身近なものである。ただ、大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多く、その意味では、児童に意外性をもって知ることに喜びを与える内容ともいえる。文章の構成を見ると、大豆はいろいろな食品になっているという話題提示、大豆食品の具体例、大豆のよさや工夫した先人のすばらしさというまとめに分けられる。これは「はじめ・中・おわり」という説明文の基本的な組み立てであり、段落の構成が明確である。また、「くふう」という語を探ることにより、中心文を見つけやすく、段落の中心をとらえる意識をもたせられる。後半の「食べ物がかせになろう」の学習においては、自分が興味をもった材料や食品について視点を明確にしながらかんたに整理して書く学習活動である。この活動は、書こうとすることの中心を明確にし、伝えるために段落相互の関係に注意して文章を構成するよさを理解することができる。このように、段落の役割とその中心を意識することは、大事なことを確かめながら読んだり書いたりする力を育てることに効果的であると考えられる。

(3) 指導にあたって

中心をとらえて読んだり、中心を意識して書いたりする力を身に付けさせるために、「すがたをかえる大豆」では、段落を短くまとめる活動を設定する。また、題名から筆者が読み手に伝えたいことは何かを考えさせる発問を組み入れる。これにより、児童に中心をとらえて読む力を育てたい。さらに「食べ物がかせ」では、「すがたをかえる大豆」の文章構成を見直させ、「はじめ」「中」「おわり」に気付かせたい。それぞれのまとまりの役割を考えさせ、伝えたいことをわかりやすくする書き方があることに

気付かせたい。これらの読み取った事柄を書く活動につなげることで、中心や思いを
考えて読んだり書いたりできる力を身に付けさせたい。

3 単元の目標

- (1) 食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味をもって読んだり、伝えたいこと
が明確になるように書いたりしようとするができる。(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 身近な食べ物について、書く必要のある事柄を収集したり選択したりして書こうと
することの中心を明確にした文章を書くことができる。(書くこと)
- (3) 中心となる語や文をとらえて、大豆を食べる工夫とその知恵のすばらしさを読み取
ることができる。(読むこと)
- (4) 文脈に沿った指示語や接続語を正しく使うことができる。
(言語についての知識・理解・技能)

4 単元指導計画 (18 時間)

段階	時	学 習 活 動
第 1 次	1	○題名をもとに、大豆を使った食品について知っていることを発表する。 ○全文を読み、大豆を使った食品を確かめる。
	2	○「はじめ」「中」「おわり」の3つに分ける。
	3	○「はじめ」の部分から、どんな話題を提示しているか読み取る。
	4	○「中」の部分から、大豆をおいしく食べる工夫を読み取る。
	5	
	6 本時	○「おわり」の部分から、多くの大豆の食べ方が考えられたわけを読み取る。
	7	○それぞれの段落の小見出しを考え、文章の構成を確認する。
第 2 次	8	○「食べ物はかせになろう」を読み、調べたことを文章にまとめるまでの 流れをつかむ。
	9	○調べたい食べ物を決める。 ○学習計画を立てる。
	10	○「本で調べる」をもとに、本での調べ方を知る。
	～ 12	○目的に合った図書資料を探し、その中から調べたい事柄を選び出し、分 かったことをカードに書く。
	13	○カードを整理する。
第 3 次	～	○それぞれのカードのまとめりに文章を書く。
	16	○清書する。
	17	○文章をまとめ、本を作る。
	18	○本を読み合う。

6 本時の指導 (6/18)

(1) 目 標

いろいろな大豆の食べ方が考えられたわけを読み取り、教材の中心となる事柄をと
らえることができる。(読むこと)

(2) 本時の目標を達成するための手立て

大豆がすがたをかえて食べられている理由を視写し、「大豆が味もよい」という文章と
第二段落にある対称的な文章に注目させてその内容を吟味させる。

(3) 展 開 (太字ゴシック体は手立てにかかわる部分)

段階	学習活動	指導上の留意点
つ か む 5 分	<p>1 前時の想起 ○大豆をおいしく食べるには、どのような工夫がありましたか。</p> <p>2 課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">大豆はどうしていろいろな食べ方が考えられたのだろう。</div> <p>3 学習場面の音読 (P 25 L 7～P 25 L 13)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6つの工夫にまとめられることを振り返らせる。 ・大豆が他の食品よりもたくさんの食べ方が考えられていることに気付かせる。 ・一斉読みと指名読みを行わせ、指名読みでは、大豆の食べ方が考えられた理由となる事柄がいくつあるか考えさせる。 ・どこに理由が書かれているか注目しながら読ませる。
た し か め る 35 分	<p>4 見通す ○大豆の食べ方がたくさん考えられた理由はいくつあるでしょう。</p> <p>5 一人学び ・たくさんの大豆の食べ方が考えられた理由にサイドラインを引きましょう。</p> <p>6 学び合い ・たくさんの大豆の食べ方が考えられたわけを発表しましょう。</p> <p>○栄養があることが分かる文章がありましたか。</p> <p>○やせた土地にも強く、育てやすいため、多くの地域でうえられたとはどういうことでしょうか。</p> <p>○「大豆が味もよい」と書いてありますが、味がよいのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理由を探す手掛かりとして、～から、～ためなどの言葉に注目させる。 ・たくさんの食べ方が考えられた理由にサイドラインを引かせる。 ・多くの食べ方が考えられた理由が三つ(味のよさ、栄養価、多くの地域で植えられたこと)あることを知らせる。 ・理由を発表し合い、その内容を確認する。 ・理由について書かれた文章を視写させる。 ・栄養について書かれた文章を見つけさせ、理由の内容の吟味をさせる。 ・大豆の育てやすさについて確認させる。 ・第二段落の「おいしくするためのくふう」という言葉に注目させ、大豆そのものの味のよさではなく、すがたを変えておいしくなるという大豆の特徴を話し合わせる。 ・大豆のよさを話し合う中から、大豆の素晴らしさを実感できるようにする。 ・くふうをちえと言い換えていることを確認する。 ・昔の人々のちえについて筆者が感じていることを読み取らせる。

	<p>7 まとめ</p> <p>○大豆はどうしていろいろな食べ方が考えられたのでしょうか。</p> <p>大豆は、</p> <p>① 味がよく（すがたをかえるとおいしくなる）</p> <p>② えいようをたくさんふくんでいて</p> <p>③ やせた土地にも強く、育てやすいことから、多くの地域で植えられたため</p> <p>いろいろな食べ方が考えられた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大豆がすがたを変え、多く食べられてきた理由をまとめさせる。 味のよさについて自分の言葉で言い換えさせる。 理由をまとめ、筆者が伝えようとした大豆のすばらしさに共感させる。
ひろげる 5分	<p>8 ふりかえり</p> <p>9 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の感想を発表させる。 大豆についてと昔の人々についての感想をもたせる。 それぞれの段落を短い文でまとめることを知らせる。

(4) 具体の評価規準

観点	十分満足できる状況	概ね満足できる状況	努力を要する児童への支援
読むこと	大豆がすがたをかえて食べられる理由をとらえ、大豆のすばらしさを読み取っている。	大豆がすがたを変えて食べられている理由をとらえている。	理由を表わす言葉に印をつけさせ、その前後の文章に注目させる。

7 板書計画

すがたをかえる大豆

国分 牧衛

大豆はどうしていろいろな食べ方が考えられたのだろう。

おいしく食べるためのくふう

③ いる 写真 いる 写真

④ こなにひく 写真

⑤ 大切なえいようだけ取り出す 写真

⑥ 小さな生物の力をかりる 写真

⑦ 取り入れる時期 写真 育て方 写真

ちがう
食品

⑧ 大豆が味もよく、畑の肉といわれるくらいたくさんえいようをふくんでいるからです。そのうえ、やせた土地にも強く、育てやすいことから多くのちいきで植えられたためでもあります。

大豆は、

① 味がよく（すがたをかえるとおいしくなる）

② えいようをたくさんふくんでいて

③ やせた土地にも強く、育てやすいことから、多くの地域で植えられたため

いろいろな食べ方が考えられた。

⑨ 昔の人々の人々のちえにおどろかさされる